



コミュニティ・スクールだより

おおやぐち

令和6年度 第2号

令和6年 9月4日
板橋区立大谷口小学校

PTA会長 佐藤 香織
校長 宮澤竜太郎

第2回 板橋区コミュニティスクール(iCS) 委員会のご報告

第2回板橋区コミュニティ・スクール (iCS) 委員会を7月2日に実施し、委員の皆様に通常の授業の様子を参観していただきました。熟議では、「児童の主体性を高めるための学校と地域の連携」について熟議を行いました。校長より、1学期を振り返り、学校の現状について説明し、その後、委員の皆様より御意見・御感想をいただきました。貴重な御意見をありがとうございました。今後の教育活動に役立てて参ります。

委員会 次第

日時：令和6年7月2日（火）9時30分～11時00分

場所：大谷口小学校 ランチルーム

内容：1 委員長挨拶

2 学校長より挨拶

3 熟議「児童の主体性を高めるための学校と地域の連携」

4 委員の皆様より

5 事務連絡

校長より

1 地域の教育資源を活用した教育活動について

- 教育活動の通常化に伴い、学校公開、保護者会を通常実施に戻した。5年生及び6年生の宿泊学習→予定の行程を実施（天候の影響を受けず）【成果】5分前行動、仲間との友情を大いに深める機会となった。たてわり班活動等異学年交流（たてわりリンピック）7月11日に6年生主体で内容を計画し、行う予定。
- 学校のきまりについて（2学期から予定）下記について改めて周知徹底が必要。
 - ・「生活の約束」・元気にあいさつ！みんなで協力！時間を大事に！の再確認
 - ・もちものの確認徹底、服装や身だしなみについて 廊下歩行
- 大谷口サポーターズの学校支援→大変助かっている。学校としても教職員の働き方改革推進につながる。

委員の皆様より

授業を参観して感じた子供の姿からご意見をいただきました。

熟議「児童の主体性を高めるための学校と地域の連携」

- 5年生理科の問題作りでは、一人一台端末の効果的な活用を行っていた。
- 算数少人数授業より、1年生の算数では、問題文に立ち返っている指導が印象に残った。区で推奨する「読み解く力」の育成につながっている。
- 失敗を恐れる子供が多い・・・ほめて育てる、という教育方針が主流だが、「正解症候群」という言葉もある。ダメなことはダメと教えることが大切。叱咤激励して育てていく。特別扱いではなく友達と同じ課題を競うことも必要。
- 「聞く」ことの大切さについて、指導を継続してほしい。
- グループ学習の充実が必要。個性の異なる児童が集まって話し合うことに意味がある。得意なことを伸ばし、足りないことに気付くことができる。
- 鉛筆の持ち方について・・・幼稚園でも指導していきたい。基本的な生活習慣については、気になることは保護者とも個人面談等で情報共有していくべき。
- 教材研究の充実（地域教材の開発を含む）が児童の意欲につながるのではないか。

次回の予告

第3回コミュニティ・スクール委員会は、給食試食会を兼ねて、令和6年10月29日（火）11：00よりランチルームにて行います。

（文責 校長 宮澤 竜太郎）